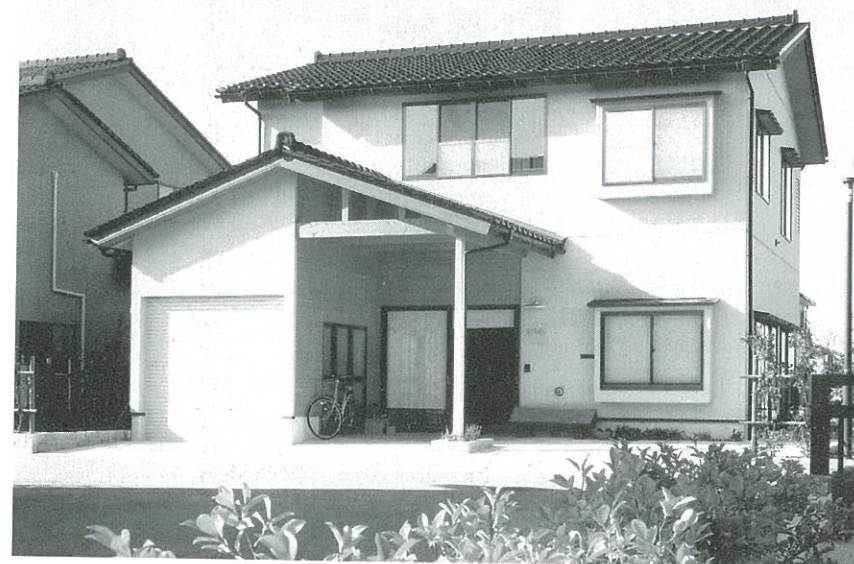


工務店の社会的使命を自覚し 国民の住まいづくりに奉仕

新協建設工業株式会社

東京都台東区台東2-25-10 〒110-0016
TEL 03-3835-7373 FAX 03-3837-8450
URL <http://www.shinkyo-ken.co.jp> E-mail tomizuka@shinkyo-ken.co.jp



障害者福祉施設 (金沢市/木造/自社設計)

同族企業にはしない

新協建設工業には「身内を人たさせない」という不文律がある。三代目となる現社長の富塚孝氏は、「同族企業にはならないというのが設立以来の当社の憲法です」という。会社は建て主と株主と社員、大きくは社会のために存在することを明確に位置付けてのことだ。そして株式の半分を役員と社員とで保有し、「雇われサラリーマンではない」という自覚を強く持たせるようにしている。同時に、社員・役員とも退職の際はすべての株を会社に戻すというルールを守ってきた。富塚社長は、「そうしないと、引退した社長がいつまでも株を背景に影響力を持ち続けてしまう」と、

何のため、誰のための企業なのかをはっきりさせている。

シックハウスの経験から

富塚社長はシックハウス問題に敏感だ。というのも以前、引き渡した住宅でアレルギー症状が出た経験を持つからである。富塚社長は「原因がはっきりしない苛立ちで逃げ出したくなったが、逃げてはいけなかった」と当時を振り返る。シックハウスがテレビで取り上げられ始めた頃で、北里研究所病院など、シックハウス問題に詳しい専門家に相談して原因を調べまわった。

「従来、建設業界はいつも他人のせいばかりしていた。でも建て主は当社を信じて依頼してくれた。期待に応える責任がある」との思いで調べ上げた。結果、原因は畳の染料と既製家具の合板から出る化学物質であることが判明した。富塚社長が調べ始めてすでに三年が経っていた。原因の解明、改善により

を数えるという。また、建て主に対しては「建物を訪ねる会」や「バイオリンコンサート」などを催し、招待している。

大規模工事も手掛ける同社であるが、どんな小規模建築の依頼でも、誠心誠意取り組み姿勢に変わりはない。それは三〇年間で新築・リフォーム合わせ二万件以上の実績が物語っている。

設計者から 技術もさることながら 基準を超えた企業努力 三沢 浩さん

先日竣工した「東京大空襲・戦災資料センター」でいっしょにやってきたのですが、非常に誠実な工務店であることを感じた。いろいろな意味で、一般的な基準を超えた企業努力の見える工務店です。もちろん技術力も高い。新建築家技術者集団の会員ということもあり、建築から社会を捉え、建築界の社会的使命を強く自覚している。それに、あれほど建て主を大切にすることも、やはり三〇年の実績があるからでしょうね。

(三沢建築研究所)

障害者福祉施設



上野動物園トラの住む森 放飼場



DATA

新協建設工業株式会社

代表者：富塚 孝

- 設立年 1972年
- 住宅の年間着工棟数 約45棟
- 住宅と住宅以外の割合 住宅60% (新築半分、リフォーム半分)、それ以外40%
- 加入している保証制度 住宅性能保証制度、住宅完成保証制度
- 支社 大阪、石川、広島
- 新協三目標
 - ・国民の住まいづくりに奉仕する・中小建設業者の協力共同で経営を発展させる・建設に携わる人々の生活向上をめざす
- 対象地域 首都圏、大阪、石川、広島
- 社員数 40名
- 備考 ISO9001取得



建て主の健康は戻った。そして、そこまで真剣に対応してくれた同社に対して信用を強めてくれ、紹介もしてくれている。以降、同社では問題になりそうな化学製品や建材をできる限り使わないようにしている。また、新規の建て主に対して詳しく身体状況を聞き、素材選定もこれまで以上に神経質になった。富塚社長は、「化学製品は便利だが、家づくりににおいて大切なことは住み手の安全」と語る。その思想に基づいた施工姿勢が、根強く顧客を惹きつけている。

その思想の具体的指針が「新協三目標」だ(DATA欄参照)。そこに共通するのは、「建築だけをやっていればいいというものではない」という主張である。一例として、同社では工事現場で発生する木材の端材を集めて小学校に配っている。それが図工の授業で予想以上に重宝されるそうだ。いまでは同社がプレゼントしている小学校は三〇校